

普通期水稻栽培ごよみ

平成28年 3月作成

防除時は隣接ほ場の耕作者に声をかけ、風向・風速に注意し飛散防止につとめましょう。

農薬は、ラベルの記載内容を確認のうえ適正使用に努めましょう。

月	6月			7月			8月			9月			10月			11月																																																																																																																																																																																																																																																																											
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上																																																																																																																																																																																																																																																																											
品種																																																																																																																																																																																																																																																																																											
生育	活着期			分けつ期			最高分けつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂期	乳熟期	糊熟期	黄熟期	成熟期																																																																																																																																																																																																																																																																													
主な管理																																																																																																																																																																																																																																																																																											
病害虫防除																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>防除時期</th> <th>農薬名</th> <th>主な防除対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">移植3日前~移植当日</td> <td>ビルダーフェルテラチェス粒剤</td> <td>いもち病, ウンカ類, コブノメイガ(はまきむし) ※ヒノヒカリ用</td> </tr> <tr> <td>フェルテラチェス箱粒剤</td> <td>ウンカ類, コブノメイガ ※あきほなみ用</td> </tr> <tr> <td>フルターボ箱粒剤</td> <td>いもち病, ウンカ類, コブノメイガ, 紋枯病</td> </tr> <tr> <td>7月下旬~8月上旬</td> <td>アブロードスタークルゾル, 又は, スタークル粒剤</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> </tr> <tr> <td>8月下旬</td> <td>ノンブラストレバリダ粉剤DL</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類</td> </tr> <tr> <td>9月~10月</td> <td>スタークル粉剤DL, 又は, トレボン粉剤DL</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> </tr> </tbody> </table>															防除時期	農薬名	主な防除対象病害虫	移植3日前~移植当日	ビルダーフェルテラチェス粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ(はまきむし) ※ヒノヒカリ用	フェルテラチェス箱粒剤	ウンカ類, コブノメイガ ※あきほなみ用	フルターボ箱粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ, 紋枯病	7月下旬~8月上旬	アブロードスタークルゾル, 又は, スタークル粒剤	ウンカ類, カメムシ類	8月下旬	ノンブラストレバリダ粉剤DL	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類	9月~10月	スタークル粉剤DL, 又は, トレボン粉剤DL	ウンカ類, カメムシ類																																																																																																																																																																																																																																																									
防除時期	農薬名	主な防除対象病害虫																																																																																																																																																																																																																																																																																									
移植3日前~移植当日	ビルダーフェルテラチェス粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ(はまきむし) ※ヒノヒカリ用																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	フェルテラチェス箱粒剤	ウンカ類, コブノメイガ ※あきほなみ用																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	フルターボ箱粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ, 紋枯病																																																																																																																																																																																																																																																																																									
7月下旬~8月上旬	アブロードスタークルゾル, 又は, スタークル粒剤	ウンカ類, カメムシ類																																																																																																																																																																																																																																																																																									
8月下旬	ノンブラストレバリダ粉剤DL	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類																																																																																																																																																																																																																																																																																									
9月~10月	スタークル粉剤DL, 又は, トレボン粉剤DL	ウンカ類, カメムシ類																																																																																																																																																																																																																																																																																									
除草剤基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>除草剤名</th> <th>10aあたり使用量</th> <th>対象雑草</th> <th>使用時期</th> <th>処置方法</th> <th>使用上の注意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ザークD粒剤17</td> <td>3kg</td> <td>水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等</td> <td>移植後5日~ノビエ3葉期, ただし移植後30日前まで</td> <td>湛水散布</td> <td rowspan="5"> ・整地, 代かきはていねいに行う ・田面の露出がないように湛水し散布する ・散布後3日間は, 3~5cmの湛水深で管理 ・植えたいみや活着していないときは, 活着するまで, 散布を遅らせる </td> </tr> <tr> <td>イネキング1キロ粒剤</td> <td>1kg</td> <td>水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等</td> <td>移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで</td> <td>湛水散布</td> </tr> <tr> <td>サラブレッドフロアブル</td> <td>500ml</td> <td>水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等</td> <td>移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで</td> <td>原液湛水散布または水口施用</td> </tr> <tr> <td>ミスターホームランジャンボ</td> <td>10パック</td> <td>水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等</td> <td>移植後3日~ノビエ2葉期, ただし, 移植後30日前まで</td> <td>水田にパックのまま投げ入れる</td> </tr> <tr> <td>クラッシュEXジャンボ</td> <td>10パック</td> <td>水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等</td> <td>移植後3~10日(ノビエ2葉期まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後期剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・湛水深を5~6cmにし, 水の出入りをしっかり止め畦畔から均等に投げ込む</td> </tr> <tr> <td>クリンチャー1キロ粒剤</td> <td>1.5kg</td> <td>ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ</td> <td>移植後25日~ノビエ5葉期, ただし, 収穫30日前まで</td> <td>湛水散布</td> <td>・広葉雑草が混在するほ場では, それらに有効な剤と組み合わせ使用。</td> </tr> <tr> <td>クリンチャーEW</td> <td>100ml</td> <td>ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ</td> <td>移植後20日~ノビエ6葉期, ただし, 収穫30日前まで</td> <td>湛水散布又は落水散布</td> <td>・使用の際は展着剤を加用する。 ・漏水田(減水深2cm/日以上)では使用しない。</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>モゲトン粒剤</td> <td>2~3kg</td> <td>藻類(アオミドロ, アミミドロ)・ウキクサ類</td> <td>雑草の発生始~発生盛期 ただし, 収穫45日前まで</td> <td>湛水散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															除草剤名	10aあたり使用量	対象雑草	使用時期	処置方法	使用上の注意	ザークD粒剤17	3kg	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後5日~ノビエ3葉期, ただし移植後30日前まで	湛水散布	・整地, 代かきはていねいに行う ・田面の露出がないように湛水し散布する ・散布後3日間は, 3~5cmの湛水深で管理 ・植えたいみや活着していないときは, 活着するまで, 散布を遅らせる	イネキング1キロ粒剤	1kg	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで	湛水散布	サラブレッドフロアブル	500ml	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで	原液湛水散布または水口施用	ミスターホームランジャンボ	10パック	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後3日~ノビエ2葉期, ただし, 移植後30日前まで	水田にパックのまま投げ入れる	クラッシュEXジャンボ	10パック	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後3~10日(ノビエ2葉期まで)		後期剤					・湛水深を5~6cmにし, 水の出入りをしっかり止め畦畔から均等に投げ込む	クリンチャー1キロ粒剤	1.5kg	ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ	移植後25日~ノビエ5葉期, ただし, 収穫30日前まで	湛水散布	・広葉雑草が混在するほ場では, それらに有効な剤と組み合わせ使用。	クリンチャーEW	100ml	ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ	移植後20日~ノビエ6葉期, ただし, 収穫30日前まで	湛水散布又は落水散布	・使用の際は展着剤を加用する。 ・漏水田(減水深2cm/日以上)では使用しない。	他	モゲトン粒剤	2~3kg	藻類(アオミドロ, アミミドロ)・ウキクサ類	雑草の発生始~発生盛期 ただし, 収穫45日前まで	湛水散布																																																																																																																																																																																																																				
	除草剤名	10aあたり使用量	対象雑草	使用時期	処置方法	使用上の注意																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	ザークD粒剤17	3kg	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後5日~ノビエ3葉期, ただし移植後30日前まで	湛水散布	・整地, 代かきはていねいに行う ・田面の露出がないように湛水し散布する ・散布後3日間は, 3~5cmの湛水深で管理 ・植えたいみや活着していないときは, 活着するまで, 散布を遅らせる																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	イネキング1キロ粒剤	1kg	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで	湛水散布																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	サラブレッドフロアブル	500ml	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植直後~ノビエ2.5葉期, ただし移植後30日前まで	原液湛水散布または水口施用																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ミスターホームランジャンボ	10パック	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後3日~ノビエ2葉期, ただし, 移植後30日前まで	水田にパックのまま投げ入れる																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	クラッシュEXジャンボ	10パック	水田1年生雑草及びマツバイ, ホタルイ, ミスガヤツリ, ウリカワ等	移植後3~10日(ノビエ2葉期まで)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	後期剤					・湛水深を5~6cmにし, 水の出入りをしっかり止め畦畔から均等に投げ込む																																																																																																																																																																																																																																																																																					
クリンチャー1キロ粒剤	1.5kg	ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ	移植後25日~ノビエ5葉期, ただし, 収穫30日前まで	湛水散布	・広葉雑草が混在するほ場では, それらに有効な剤と組み合わせ使用。																																																																																																																																																																																																																																																																																						
クリンチャーEW	100ml	ノビエ, キシュウスズメノヒエ, アゼガヤ	移植後20日~ノビエ6葉期, ただし, 収穫30日前まで	湛水散布又は落水散布	・使用の際は展着剤を加用する。 ・漏水田(減水深2cm/日以上)では使用しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																						
他	モゲトン粒剤	2~3kg	藻類(アオミドロ, アミミドロ)・ウキクサ類	雑草の発生始~発生盛期 ただし, 収穫45日前まで	湛水散布																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施肥設計	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th colspan="3">10aあたり施用・成分量</th> <th colspan="2">土壌改良資材</th> <th colspan="8">本田管理のポイント</th> </tr> <tr> <th>基肥施用量</th> <th>穂肥施用量</th> <th>ちっそ成分量</th> <th>資材名</th> <th>10aあたり施用量</th> <th>秋冬耕</th> <th>田植時期</th> <th>栽植密度</th> <th>基肥</th> <th>穂肥</th> <th>水管理</th> <th>箱処理剤</th> <th>タニシ対策</th> <th>害虫対策</th> <th>稲こじ病対策</th> <th>収穫適期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ヒノヒカリ</td> <td>きもつき骨粉入り高度264</td> <td>30kg</td> <td></td> <td rowspan="2">5.1kg</td> <td>良質堆肥</td> <td>1000kg</td> <td>秋冬耕</td> <td>冬期に耕うんすることで, スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)や越冬性害虫の駆除, 多年生雑草の対策になる。</td> <td>田植時期</td> <td>ヒノヒカリ: 6月20日頃, あきほなみ: 6月15日頃が田植の適期。極端な早植えは, 夏季高温時に登熟するため, 品質が低下しやすい。</td> <td>栽植密度</td> <td>70株~60株/坪(株間16cm~18cm), 一株3~5本植え。地力の低い水田では密植にする。</td> <td>基肥</td> <td>施肥設計を参考に, 地力の高いほ場は施肥を控えめに。普通期水稻は過繁茂になりやすいので, 追肥を重点にする。</td> <td>穂肥</td> <td>穂肥適期に葉色が濃い場合は穂肥の量を加減する。</td> <td>水管理</td> <td>移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する</td> <td>箱処理剤</td> <td>箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。</td> <td>タニシ対策</td> <td>スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。</td> <td>害虫対策</td> <td>ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。</td> <td>稲こじ病対策</td> <td>前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。</td> <td>収穫適期</td> <td>1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。</td> </tr> <tr> <td>NK5号</td> <td></td> <td>10kg</td> <td></td> <td>アイアンサポート</td> <td>植付前の土づくり(植付前に施用)</td> <td>田植時期</td> <td></td> <td>栽植密度</td> <td></td> <td>基肥</td> <td></td> <td>穂肥</td> <td></td> <td>水管理</td> <td></td> <td>箱処理剤</td> <td></td> <td>タニシ対策</td> <td></td> <td>害虫対策</td> <td></td> <td>稲こじ病対策</td> <td></td> <td>収穫適期</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">あきほなみ</td> <td>きもつき骨粉入り高度264</td> <td>40kg</td> <td></td> <td rowspan="2">6.3kg</td> <td>シリカサポート1号</td> <td>茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)</td> <td>秋冬耕</td> <td></td> <td>田植時期</td> <td></td> <td>栽植密度</td> <td></td> <td>基肥</td> <td></td> <td>穂肥</td> <td></td> <td>水管理</td> <td></td> <td>箱処理剤</td> <td></td> <td>タニシ対策</td> <td></td> <td>害虫対策</td> <td></td> <td>稲こじ病対策</td> <td></td> <td>収穫適期</td> </tr> <tr> <td>NK5号</td> <td></td> <td>10kg</td> <td></td> <td>シリカサポート1号</td> <td>茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)</td> <td>秋冬耕</td> <td></td> <td>田植時期</td> <td></td> <td>栽植密度</td> <td></td> <td>基肥</td> <td></td> <td>穂肥</td> <td></td> <td>水管理</td> <td></td> <td>箱処理剤</td> <td></td> <td>タニシ対策</td> <td></td> <td>害虫対策</td> <td></td> <td>稲こじ病対策</td> <td></td> <td>収穫適期</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">農薬安全使用基準</td> <td colspan="15"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>対象病害虫</th> <th>散布量</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>水管理</th> <th>箱処理剤</th> <th>タニシ対策</th> <th>害虫対策</th> <th>稲こじ病対策</th> <th>収穫適期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビルダーフェルテラチェス粒剤</td> <td>いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> <td rowspan="3"> 移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する </td> <td rowspan="3"> 箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。 </td> <td rowspan="3"> スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。 </td> <td rowspan="3"> ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。 </td> <td rowspan="3"> 前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。 </td> <td rowspan="3"> 1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。 </td> </tr> <tr> <td>フェルテラチェス箱粒剤</td> <td>ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>フルターボ箱粒剤</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ノンブラストレバリダ粉剤DL</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等</td> <td>4kg/10a</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アブロードスタークルゾル</td> <td>ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類</td> <td>1000倍で60~150L</td> <td>出穂30日前</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラシン粉剤DL</td> <td>いもち病, ごま葉枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレボン粉剤DL</td> <td>カメムシ類, ウンカ類</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粉剤DL</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粒剤</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モンガリット粒剤</td> <td>稲こじ病, 紋枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫45日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>スクミノン</td> <td>スクミリンゴガイ</td> <td>1~4kg/10a</td> <td>移植後(収穫60日前まで)</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>															品種	肥料名	10aあたり施用・成分量			土壌改良資材		本田管理のポイント								基肥施用量	穂肥施用量	ちっそ成分量	資材名	10aあたり施用量	秋冬耕	田植時期	栽植密度	基肥	穂肥	水管理	箱処理剤	タニシ対策	害虫対策	稲こじ病対策	収穫適期	ヒノヒカリ	きもつき骨粉入り高度264	30kg		5.1kg	良質堆肥	1000kg	秋冬耕	冬期に耕うんすることで, スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)や越冬性害虫の駆除, 多年生雑草の対策になる。	田植時期	ヒノヒカリ: 6月20日頃, あきほなみ: 6月15日頃が田植の適期。極端な早植えは, 夏季高温時に登熟するため, 品質が低下しやすい。	栽植密度	70株~60株/坪(株間16cm~18cm), 一株3~5本植え。地力の低い水田では密植にする。	基肥	施肥設計を参考に, 地力の高いほ場は施肥を控えめに。普通期水稻は過繁茂になりやすいので, 追肥を重点にする。	穂肥	穂肥適期に葉色が濃い場合は穂肥の量を加減する。	水管理	移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する	箱処理剤	箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。	タニシ対策	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。	害虫対策	ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。	稲こじ病対策	前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。	収穫適期	1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。	NK5号		10kg		アイアンサポート	植付前の土づくり(植付前に施用)	田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期	あきほなみ	きもつき骨粉入り高度264	40kg		6.3kg	シリカサポート1号	茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)	秋冬耕		田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期	NK5号		10kg		シリカサポート1号	茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)	秋冬耕		田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期	農薬安全使用基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>対象病害虫</th> <th>散布量</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>水管理</th> <th>箱処理剤</th> <th>タニシ対策</th> <th>害虫対策</th> <th>稲こじ病対策</th> <th>収穫適期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビルダーフェルテラチェス粒剤</td> <td>いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> <td rowspan="3"> 移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する </td> <td rowspan="3"> 箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。 </td> <td rowspan="3"> スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。 </td> <td rowspan="3"> ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。 </td> <td rowspan="3"> 前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。 </td> <td rowspan="3"> 1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。 </td> </tr> <tr> <td>フェルテラチェス箱粒剤</td> <td>ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>フルターボ箱粒剤</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ノンブラストレバリダ粉剤DL</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等</td> <td>4kg/10a</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アブロードスタークルゾル</td> <td>ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類</td> <td>1000倍で60~150L</td> <td>出穂30日前</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラシン粉剤DL</td> <td>いもち病, ごま葉枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレボン粉剤DL</td> <td>カメムシ類, ウンカ類</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粉剤DL</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粒剤</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モンガリット粒剤</td> <td>稲こじ病, 紋枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫45日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>スクミノン</td> <td>スクミリンゴガイ</td> <td>1~4kg/10a</td> <td>移植後(収穫60日前まで)</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															農薬名	対象病害虫	散布量	使用時期	使用回数	水管理	箱処理剤	タニシ対策	害虫対策	稲こじ病対策	収穫適期	ビルダーフェルテラチェス粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する	箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。	ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。	前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。	1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。	フェルテラチェス箱粒剤	ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	フルターボ箱粒剤	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	ノンブラストレバリダ粉剤DL	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内						アブロードスタークルゾル	ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類	1000倍で60~150L	出穂30日前	3回以内						ブラシン粉剤DL	いもち病, ごま葉枯病等	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内						トレボン粉剤DL	カメムシ類, ウンカ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						スタークル粉剤DL	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						スタークル粒剤	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						モンガリット粒剤	稲こじ病, 紋枯病等	3~4kg/10a	収穫45日前まで	2回以内						他	スクミノン	スクミリンゴガイ	1~4kg/10a	移植後(収穫60日前まで)	2回以内				
	品種	肥料名	10aあたり施用・成分量			土壌改良資材		本田管理のポイント																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			基肥施用量	穂肥施用量	ちっそ成分量	資材名	10aあたり施用量	秋冬耕	田植時期	栽植密度	基肥	穂肥	水管理	箱処理剤	タニシ対策	害虫対策	稲こじ病対策	収穫適期																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ヒノヒカリ	きもつき骨粉入り高度264	30kg		5.1kg	良質堆肥	1000kg	秋冬耕	冬期に耕うんすることで, スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)や越冬性害虫の駆除, 多年生雑草の対策になる。	田植時期	ヒノヒカリ: 6月20日頃, あきほなみ: 6月15日頃が田植の適期。極端な早植えは, 夏季高温時に登熟するため, 品質が低下しやすい。	栽植密度	70株~60株/坪(株間16cm~18cm), 一株3~5本植え。地力の低い水田では密植にする。	基肥	施肥設計を参考に, 地力の高いほ場は施肥を控えめに。普通期水稻は過繁茂になりやすいので, 追肥を重点にする。	穂肥	穂肥適期に葉色が濃い場合は穂肥の量を加減する。	水管理	移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する	箱処理剤	箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。	タニシ対策	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。	害虫対策	ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。	稲こじ病対策	前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。	収穫適期	1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。																																																																																																																																																																																																																																																														
NK5号			10kg			アイアンサポート	植付前の土づくり(植付前に施用)	田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期																																																																																																																																																																																																																																																																	
あきほなみ	きもつき骨粉入り高度264	40kg		6.3kg	シリカサポート1号	茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)	秋冬耕		田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期																																																																																																																																																																																																																																																																
	NK5号		10kg			シリカサポート1号	茎や葉を丈夫にし, 倒伏軽減や登熟効果を高める目的(穂肥時などに施用)	秋冬耕		田植時期		栽植密度		基肥		穂肥		水管理		箱処理剤		タニシ対策		害虫対策		稲こじ病対策		収穫適期																																																																																																																																																																																																																																																															
農薬安全使用基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>対象病害虫</th> <th>散布量</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> <th>水管理</th> <th>箱処理剤</th> <th>タニシ対策</th> <th>害虫対策</th> <th>稲こじ病対策</th> <th>収穫適期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビルダーフェルテラチェス粒剤</td> <td>いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> <td rowspan="3"> 移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する </td> <td rowspan="3"> 箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。 </td> <td rowspan="3"> スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。 </td> <td rowspan="3"> ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。 </td> <td rowspan="3"> 前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。 </td> <td rowspan="3"> 1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。 </td> </tr> <tr> <td>フェルテラチェス箱粒剤</td> <td>ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>フルターボ箱粒剤</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等</td> <td>50g/箱</td> <td>移植3日前~移植当日</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ノンブラストレバリダ粉剤DL</td> <td>いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等</td> <td>4kg/10a</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アブロードスタークルゾル</td> <td>ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類</td> <td>1000倍で60~150L</td> <td>出穂30日前</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラシン粉剤DL</td> <td>いもち病, ごま葉枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレボン粉剤DL</td> <td>カメムシ類, ウンカ類</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粉剤DL</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル粒剤</td> <td>ウンカ類, カメムシ類</td> <td>3kg/10a</td> <td>収穫7日前まで</td> <td>3回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モンガリット粒剤</td> <td>稲こじ病, 紋枯病等</td> <td>3~4kg/10a</td> <td>収穫45日前まで</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>スクミノン</td> <td>スクミリンゴガイ</td> <td>1~4kg/10a</td> <td>移植後(収穫60日前まで)</td> <td>2回以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															農薬名	対象病害虫	散布量	使用時期	使用回数	水管理	箱処理剤	タニシ対策	害虫対策	稲こじ病対策	収穫適期	ビルダーフェルテラチェス粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する	箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。	ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。	前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。	1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。	フェルテラチェス箱粒剤	ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	フルターボ箱粒剤	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	ノンブラストレバリダ粉剤DL	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内						アブロードスタークルゾル	ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類	1000倍で60~150L	出穂30日前	3回以内						ブラシン粉剤DL	いもち病, ごま葉枯病等	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内						トレボン粉剤DL	カメムシ類, ウンカ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						スタークル粉剤DL	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						スタークル粒剤	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内						モンガリット粒剤	稲こじ病, 紋枯病等	3~4kg/10a	収穫45日前まで	2回以内						他	スクミノン	スクミリンゴガイ	1~4kg/10a	移植後(収穫60日前まで)	2回以内																																																																																																																																																																
	農薬名	対象病害虫	散布量	使用時期	使用回数	水管理	箱処理剤	タニシ対策	害虫対策	稲こじ病対策	収穫適期																																																																																																																																																																																																																																																																																
	ビルダーフェルテラチェス粒剤	いもち病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回	移植~活着期は田面が露出しない程度の浅水。深水にすると水温が高いため, 活着が悪くなる。 中干しは7月下旬, 1株あたりの茎数22本確保後, 5~10日ほど行う。分けつ過剰の場合は間断灌水をまじえて長めに行う。 落水の目安は刈取3~5日前。早期落水は実入りや食味が悪化。「あきほなみ」は登熟期間が長いので特に注意する	箱処理剤の使用が病害虫防除の基本となる。防除効果を高めるために, 必ず, 育苗箱1箱あたり50gを処理する。	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生しているところは, 田植後1ヶ月は浅水管理とし, 薬剤による防除はスクミノン散布する。	ウンカとコブノメイガは, 梅雨前線に乗って飛来後増殖・加害する。飛来後の7月下旬~8月上旬の粒剤防除を基本にする。熟期の遅い「あきほなみ」では, 秋期のウンカに注意し, スタークル粉剤等で防除する。	前年に稲こじ病が発生したほ場では, モンガリット粒剤を穂ばらみ期(出穂2~3週間前:概ね8月上旬)に散布する。	1株の中の3~5番目に長い茎の穂の青粉割合が10%程度になったときが収穫適期。																																																																																																																																																																																																																																																																																
	フェルテラチェス箱粒剤	ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	フルターボ箱粒剤	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, コブノメイガ等	50g/箱	移植3日前~移植当日	1回																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ノンブラストレバリダ粉剤DL	いもち病, 紋枯病, ウンカ類, カメムシ類等	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	アブロードスタークルゾル	ウンカ類, ツマグロヨコバイ, カメムシ類	1000倍で60~150L	出穂30日前	3回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ブラシン粉剤DL	いもち病, ごま葉枯病等	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	トレボン粉剤DL	カメムシ類, ウンカ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	スタークル粉剤DL	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						
スタークル粒剤	ウンカ類, カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																							
モンガリット粒剤	稲こじ病, 紋枯病等	3~4kg/10a	収穫45日前まで	2回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																							
他	スクミノン	スクミリンゴガイ	1~4kg/10a	移植後(収穫60日前まで)	2回以内																																																																																																																																																																																																																																																																																						